

大泉

大泉小を動かす四つの車輪

副校長 武井 和幸

子供達は、今の学年にも慣れ、それぞれの学年で学習や生活に一生懸命取り組んでいます。六年生は、先週下田移動教室があり、学年の絆をさらに深めたようです。

この大泉小の子供達を見てみると、たくさんの人に支えられて生活できていると日々感じています。それは大きく、四つものものに支えられていると考えています。車に例えると、四つの車輪があつて、その四つの車輪が同じ方向に動くことで、スムーズに車を動かしていることだと思えます。

その四つの車輪の一つ目が保護者です。子供達にとって、家庭は安らぎの場でもあります。家庭で安心して過ごせることで、学校生活も落ち着いて生活できると考えています。大泉小が今落ち着いていけるのも保護者の皆様がお子さんを家庭でしっかりと育ててくれているからだと思えます。

P.T.Aも、協力的で子供達の活動を常に支えてくださり、感謝しています。ラジオ体操や大泉小フェスティバルなどたくさん催し物で、子供達にとって、思い深いものになっていると思えます。

<発行>
練馬区立大泉小学校

<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



二つ目の車輪が教職員です。本校の教員は授業を中心に学習面、生活面の指導を日々取り組んでいます。また、子供達の学校生活がより充実したものになるようにそれぞれの職員が自分の職務に精一杯取り組んでいます。

三つ目の車輪が、同窓会です。本校は同窓会という組織があります。昭和三十一年に発足して、今回六月一日に行われる同窓会で五十二回を数えます。同窓会は、大泉小の卒業生で成り立っています。

この同窓会の皆様の力なしには、大泉小が成り立たないと言っても過言ではありません。一昨年の百二十周年記念式典も、同窓会の皆様のご協力で盛大に行うことができました。卒業すると同窓会の一員になります。大泉小の卒業生は今、一万二千九百六十二名です。今後さらに大きな同窓会になっていきます。

四つ目の車輪が、地域です。先月、商栄会のショウエイダーが来校し、子供達を喜ばせてくれました。また、安全安心ボランティアでも、火曜日に宮野町会、水曜日に仲町町会の方が担当して、子供達の安全のため活動していただいています。野球やサッカーなどスポーツを通して、子供達とかわわっていただいている地域の方々にも感謝しています。

明日、六月一日は大泉小百二十二回目の開校記念日です。これを機会に大泉小のよさを見付けてくれるとうれしいです。

6月の行事予定

- 1日(日) 開校記念日
- 3日(火) 安全指導・安全点検
遠足(五)
- 5日(木) 新体力テスト
委員会活動
- 6日(金) 新体力テスト予備日
合同保護者会(五)
読書旬間終わり
- 9日(月) 水泳指導始(五)
- 12日(木) 中学校区別協議会
4時間授業
- 13日(金) 学校公開日
- 14日(土) 学校公開日
- 16日(月) 水泳指導始(1~6)
日生劇場(6)
- 17日(火) 避難訓練(地域班下校)
- 18日(水) 4時間授業
- 19日(木) 歯磨き指導(4)
クラブ活動
- 20日(金) 社会科見学(4)
- 25日(水) 水道キャラバン(4)
- 26日(木) クラブ活動
- 27日(金) ロング集会
- 30日(月) 定期健康診断終了
三校合同水泳(五)



《6月の生活目標》 「雨の日の過ごし方を工夫しましょう」

プール開きをする、梅雨入り。何日もプールに入れない日が続き、休み時間は教室で大騒ぎ。毎年の6月の光景です。梅雨が来ることは分かっているのだから、今年こそは準備万端で梅雨を迎え、楽しく過ごさせたいと思っています。

さて、六月は「ふれあい月間」です。いじめ撲滅月間として、いじめアンケートをとったり、道徳の時間や様々なクラスでの活動の中で相手の立場に立つて行動することや命の大切さについて区内の小学校で一斉に指導したりします。

クラスで「いじめがある」と言う、それだけで問題のあるクラスという感じをもたれがちですが、そうとは言えません。もちろん、「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で我々は臨むし、いじめのない学級経営を目指しますが、残念なことはいじめの芽はどこにも存在します。学校は学ぶ場です。様々な失敗を次につなげる場です。大切なのはそれをどう教育につなげるかということです。謝ったから、双方が納得したから終わりではなく、急いで事態の収拾を図るのでなく、加害者も被害者も周りの子供も、将来に向けた学びの場にしていくのが学校の役割だと考えています。

いじめは学校や子供に限った現象ではありません。差別という形であったり職場や子育ての仲間の中であつたりと社会の中で当たり前に存在します。大泉で共に学ぶ子供たちを、みんな育てると意識をもち、将来に渡っていじめを許さない心をどの子にも育んでいきたいと思えます。

(坂上 龍介)

水泳指導が始まります

六月より水泳指導が始まります。いよいよ児童たちの楽しみにしているプールの季節になりました。

プールに入る際には、健康管理を十分に注意し、耳あか、爪切りなどの衛生管理もよろしくお願いします。また、プールカードへの記入のもれ・印鑑忘れ、忘れ物があると入水できません。水泳指導のある日は、お子様と共に持ち物の確認をお願いします。

水泳は、自分の能力に適した課題をもち、一人一人が自分の活動を工夫して学習する運動です。「十メートル立たないで泳ぐ」「クロール二十五メートルを泳ぎ切る」「平泳ぎのタイムを早くする」など自分の目標に向かって学習を進めていきます。

技能を高めることも大切ですが、水泳の知識を得て経験を積むことで、生涯スポーツとして水泳に取り組みむきっかけとなることも期待しています。授業としての水泳指導を受け、水泳の基礎基本を学び、夏休みのプールにたくさん参加して、泳力を伸ばしてほしいと願っています。たくさん練習することで、ひと夏での泳力は確実に伸びていきます。

また、五年生は夏休み前に着衣水泳を行っています。着衣で水に落ちた場合の対処の仕方について経験し、自分の命を守ることにつながる大切な学習をしています。六年生は小学校での泳ぎのまとめとして、九月四日（木）に連合水泳記録会に参加します。近隣の三校が集まり、水泳を通して親睦を深めます。精一杯の力で、自己の記録を更新してほしいと思います。
(遠藤 敦)

体力テスト

5月から体力テストを行っています。体力テストの内容は、五十メートル走、握力、反復横跳び、長座体前屈、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、上体起こし、そして二十メートルシャトルランの八種目を行います。

子供たちも「去年より足が速くなった。」「ソフトボール投げが十五メートルになった。」「などと、自分の成長を実感できる時でもあります。

昨年度の本校の結果は、各学年、持久力が東京都の平均より高い傾向にあります。柔軟性が東京都の平均を大きく下回っているということがわかりました。

柔軟性は怪我をしにくい体を作るとともに、疲れにくい体を作る大切な要素です。日常からの運動に取り入れて行うことが大切です。体育の学習でも「体づくり運動」を行い、改善に向けているところです。

本校では日頃から「運動の日常化」に取り組み、遊具の整備、充実を図ってきました。児童の運動委員会でも体力テストのコツをポスターにして校内掲示したり、外遊びのすすめのポスターを掲示して運動の日常化を進めています。

児童の体力向上に向けて、結果を檢討し改善できるようにしたいと思います。また、結果に一喜一憂することなく、運動の日常化に向けて今後も取り組んでいきたいと思えます。
(長澤 拓哉)

退職・転任されたみなさんからのご挨拶

☆五年間お世話になりました。子供たちの成長に目を見張り、たくさん感動をいただいた五年間でした。素直な心とかしこさをもつ大泉小学校の子供たちを誇りに思います。ありがとうございました。
(石井 友行)

☆大泉小の保健室でにぎやかに過ごした毎日を忘れることはありません。たくさん成長を見させてくれた元気いっぱいの子供たち、あたたかい声をかけてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。
(三浦 ゆかり)

☆大泉小で六年間お世話になりました。満開の桜に迎えられ、再び桜の中退職いたします。たくさんの子供たちとの出会いや、いろいろな経験が私の宝物になりました。ありがとうございました。
(吉田 恵子)

☆大泉小学校の桜がみごとに咲き誇る季節となりました。二年間お世話になりました。笑顔とあいさついっぱいの大泉小とお別れするのは寂しいです。健康に気を付けて元気に勉強に励んで下さい。
(女池 恵子)

☆毎日のマラソン・夏のプール・山登り・体をたくさん動かしたこと、大きな行事でみんなと感動し合えたこと、できなかつたことが出来るようになったこと、一緒に喜んだこと。一つ一つが大切な思い出です。ありがとうございました。
(嶋 由美)

☆大泉小でことばの教室の担当になってから七年。たくさんのお出合いの中で、多くのことを学ばせていただきました。気持ちのよい挨拶がとびかう大泉小を去りたい気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。
(新宅 絵美)

☆三年間、お世話になりました。苦手なことや得意なこと、それぞれの課題に合わせて、一緒に勉強しました。いずみ学級の子供たちから、大切なことをたくさん学びました。ありがとうございました。
(中島 恵子)

☆いつも元気で明るくあいさつが素敵な大泉小のみなさん。一年半という短い間でしたが、みなさんと過ごした毎日は、私にとってとても大切な思い出です。これからも、心も体も健康な学校生活を送って下さい。
(伊藤 佳奈子)

☆五年間、大変お世話になりました。自分としては精一杯頑張ってきたのですが、後から思うとあれもこれも足りないことばかりでした。児童・保護者・地域・職員の皆様には心より感謝申し上げます。
(安武 久美)

☆五年間お世話になりました。桜がきれいな学校でしたが、自分にとっては広くて掃除が大変な学校でした。でも落葉の季節などは子供達が手伝ってくれ、大変楽しくふれあうことのできる学校でもありました。
(下村 隆二)

☆学力支援講師として二年間、一年生の勉強のお手伝いをしました。他学年の子供達との交流はありませんでしたが、廊下で会うと元気に挨拶してくれました。とても嬉しかったです。ありがとうございました。
(原 のぶ子)

☆一年間という短い間でしたが、五組の元気な子供たちと学校生活や行事を通じて一緒に学びながら楽しく過ごせたことを心より感謝いたします。保護者、教職員の皆様、本当にありがとうございました。
(深澤 昌代)